

科目・コース（ユニット）名： 生殖・周産期【医学3】

英語名称：Obstetrics and Gynecology

【担当責任者】藤森敬也（産科婦人科学講座・主任教授）、橋本優子（病理病態診断学講座・主任教授）、添田周（産科婦人科学講座・教授）

【連絡先】産科婦人科学講座・医局：024-547-1290 内線：2372

【開講年次】3年【学期】後期【必修／選択】必修

【授業形態】講義／実習

【概要】産科婦人科学は医学の根源である生命の発生、およびこれに深いかわりをもつ生殖器官の病理に関する臨床医学である。現代では、生殖に直接かわりのある産科学と女性性器の疾患を取り扱う婦人科学に大別され、また別記に示すように多くの専門分野に細分されているが、これらを生殖医学という領域で総合的な視野で捉えることが必要である。しかし、これらを理解するためには基礎的知識に限定しても発生、遺伝、解剖、生理、病理、保健、予防衛生学と幅の広い領域に及び、さらに、その臨床応用の知識に至っては、日進月歩、且つ膨大で、これらを短時間で知りうることはきわめて困難である。したがって授業方針としては母子双方の生命の尊厳と生命の誕生の原理を理解し、現時点での医学レベルを体得してもらうことに重点をおく。

【学習目標】

一般目標

1. 正常妊娠、正常分娩の機転について理解し、異常妊娠、異常分娩の病因、病態生理、治療法を理解する。
2. 骨盤内臓器の発生、局所解剖および間脳視床下部-下垂体-卵巣-子宮の内分泌学的構造、機能を理解し、女性生殖器系の疾患の病態生理および不妊症を主とした生殖内分泌疾患を理解する。

行動目標

1. 妊娠の成立機序を時間経過とともに説明できる。
2. 分娩の3要素を踏まえて、正常分娩経過を説明できる。
3. 正常妊娠、分娩の診断に必要な超音波、胎児心拍数モニタリングの所見を評価できる。
4. 以上の正常経過を把握した上で、異常妊娠の病態生理を理解し、治療の基本方針について説明できる。
5. 妊婦には内科的、外科的疾患が合併しやすいが、合併症の基礎知識を把握した上で合併症が妊娠に与える影響および妊娠が合併症に与える影響を説明でき、妊娠により変化する母体の状態が説明でき、妊娠、分娩、産褥時管理上の留意点を挙げることができる。
6. 出生前胎児診断の方法論を理解し、子宮内胎児治療などの最新の知識を知る。また、倫理上の問題点を説明できる。

7. 小骨盤内臓器の発生を理解し、女性生殖器奇形、配偶子形成について説明できる。
8. 間脳-視床下部-下垂体-卵巣-子宮系の内分泌学的な axis とその制御機構を説明できる。
9. 良性および悪性婦人科腫瘍の疫学、診断法、治療法の基本が説明できる。
10. 超音波、CT、MRI を主とした婦人科画像診断ができる。
11. 女性の急性腹症の診断、治療について説明できる。
12. 不妊症の診断、治療および最近の生殖補助医療技術について説明できる。

【教科書】

標準産科婦人科学・第 6 版（2026 年） 監修：綾部琢哉、編集：板倉敦夫・高井泰 医学書院 9,680 円

【参考書】

1. 病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外科第 4 版 MEDICMEDIA 3,300 円
2. 病気がみえる vol.10 産科第 4 版 MEDICMEDIA 3,600 円
3. Cunningham, MacDonard, Gantetal: Williams Obstetrics, 26th Edition. McGrawHill, 2022
4. 産婦人科専門医のための必修知識、2023 年度版 日本産婦人科学会 12,000 円

【成績評価方法】

授業の評価は、以下の試験により判定される。

- 原則として講義 3 分の 2 以上、実習 5 分の 4 以上の出席をしたものに限り期末試験を受験させる
- 第 3 学年次後期末（進級試験、○×問題 200 題(90%以上合格)による)

【学習上の注意事項】

- 1 時限の講義で解説される内容は膨大であり、各自知識の整理は自主的に行う必要がある。
- 講義は配布資料およびスライドを主に用いて行われるが、事前に PDF として配布知るので、予習をしてもらうことが望ましい。
- 不明な点は講義の中での質問などにより明らかにしておく必要がある。
- 次年度臨床実習で行われるセミナー形式の講義は講師、時間の制約により産科婦人科学全般を網羅することは不可能であり、基礎知識の習得は系統講義が主になることを念頭におく。
- 講義への積極的な出席を期待する。

【垂直的統合授業の実施内容】

「婦人科学女性生殖器の病理」として橋本優子教授（病理病態診断学講座）による講義・実習を 10 時間行う。そのうち、婦人科悪性腫瘍の講義の最初に橋本優子教授による病理総論を行う。また、若狭朋子・近畿大学奈良病院病理診断科教授による「妊産婦死亡（特別講義）」の前に、産科学「産科 DIC・産科ショック」を関連付けて行う。

【水平的統合授業の実施内容】

「新生児の異常」として前田創講師（総合母子医療センター・新生児部門）による講義を「早産」と共に 2 時間行う。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

「再生医療と生殖補助医療（特別講義）」として阿久津英憲（国立成育医療研究センター・再生医療センター生殖医療研究部部長）による講義を 1 時間、「妊産婦死亡（特別講義）」として若狭朋子・近畿大学奈良病院病理診断科教授による講義を 1 時間行う。

【授業スケジュール】

	授業実施日	時限	場所	担当教員	授業内容
1	6 月 30 日	1		藤森敬也	（講）婦人科学 女性器の構造と性機能
2	6 月 30 日	2		藤森敬也	（講）婦人科学 女性ホルモンと月経
3	6 月 30 日	3		藤森敬也	（講）産科学 正常妊娠（妊娠の成立）
4	7 月 7 日	1		山口明子	（講）婦人科学 月経の異常 1
5	7 月 7 日	2		山口明子	（講）婦人科学 月経の異常 2
6	7 月 7 日	3		山口明子	（講）婦人科学 女性の加齢に伴う変化・骨盤内臓器脱
7	9 月 1 日	1		大越千弘	（講）婦人科学 性器の炎症・STI
8	9 月 1 日	2		大越千弘	（講）婦人科学 不妊症・避妊法 1
9	9 月 1 日	3		大越千弘	（講）婦人科学 不妊症・避妊法 2
10	9 月 8 日	1		山口明子	（講）婦人科学 子宮内膜症 1
11	9 月 8 日	2		山口明子	（講）婦人科学 子宮内膜症 2
12	9 月 8 日	3		山口明子	（講）婦人科学 子宮筋腫・子宮腺筋症
13	9 月 15 日	1		添田 周 橋本優子	（演習）婦人科学・病理 子宮頸癌 1
14	9 月 15 日	2			（演習）婦人科学・病理 子宮頸癌 2
15	9 月 15 日	3			（演習）婦人科学・病理 子宮頸癌 3
16	10 月 6 日	1		添田 周	（講）婦人科学 子宮体癌
17	10 月 6 日	2		添田 周	（講）婦人科学 卵巣腫瘍 1
18	10 月 6 日	3		添田 周	（講）婦人科学 卵巣腫瘍 2
19	10 月 13 日	1		添田 周	（講）婦人科学 絨毛性疾患
20	10 月 13 日	2		添田 周	（講）婦人科学 外陰・膺・卵管疾患
21	10 月 13 日	3		山口明子	（講）婦人科学 性分化と性器形態の異常

22	10月20日	1		藤森敬也	(講) 産科学	正常妊娠(母体の生理的変化)
23	10月20日	2		藤森敬也	(講) 産科学	正常分娩(母体と胎児の管理)
24	10月20日	3		藤森敬也	(講) 産科学	正常分娩(分娩の3要素)
25	10月27日	1		藤森敬也	(講) 産科学	異常分娩(分娩介助と緊急時の対応)
26	10月27日	2		藤森敬也	(講) 産科学	異常分娩(分娩3要素の異常)
27	10月27日	3		藤森敬也	(講) 産科学	流産
28	11月10日	1		藤森敬也	(講) 産科学	胎児 well-being 評価(CTG・BPS) 1
29	11月10日	2		藤森敬也	(講) 産科学	胎児 well-being 評価(CTG・BPS) 2
30	11月10日	3		藤森敬也	(講) 産科学	産科領域における画像診断
31	11月17日	1		藤森敬也	(講) 産科学	早産
32	11月17日	2		前田 創	(講) 産科学	新生児の異常
33	11月17日	3		藤森敬也	(講) 産科学	胎児発育不全
34	11月24日	1		藤森敬也	(講) 産科学	妊娠高血圧症候群
35	11月24日	2		藤森敬也	(講) 産科学	常位胎盤早期剥離・前置胎盤
36	11月24日	3		藤森敬也	(講) 産科学	羊水量の異常
37	12月1日	1		藤森敬也	(講) 産科学	多胎妊娠
38	12月1日	2		藤森敬也	(講) 産科学	周産期感染症(TORCHの症候群) 1
39	12月1日	3		藤森敬也	(講) 産科学	周産期感染症(TORCHの症候群) 2
40	12月8日	1		藤森敬也	(講) 産科学	正常・異常産褥、産科手術
41	12月8日	2		藤森敬也	(講) 産科学	血液型不適合妊娠
42	12月8日	3		藤森敬也	(講) 産科学	合併症妊娠(妊娠糖尿病)
43	1月12日	1		藤森敬也	(講) 婦人科学	婦人科救急疾患(急性腹痛)
44	1月12日	2		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 2
45	1月12日	3		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 3
46	1月12日	4		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 4
47	1月12日	5		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 5
48	1月19日	1		藤森敬也	(講) 産科学	合併症妊娠(その他)
49	1月19日	2		藤森敬也	(演習) 産科・病理	産科 DIC/ショックと
50	1月19日	3		若狭朋子		妊産婦死亡レビュー(剖検検討)
51	1月19日	4		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 6
52	1月19日	5		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 7
53	1月26日	3		阿久津英憲	(講) 特別講義	再生医療と生殖補助医療
54	1月26日	4		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 8
55	1月26日	5		橋本優子	(実) 婦人科学	婦人科学女性生殖器の病理 9

【担当教員】

教員氏名	職	所属
藤森敬也	主任教授	産科婦人科学講座
橋本優子	主任教授	病理病態診断学講座
添田 周	教授	産科婦人科学講座
山口明子	准教授・部長	産科婦人科学講座・性差医療センター
安田 俊	准教授・副部長	産科婦人科学講座・総合周産期母子医療センター
大越千弘	助教・副部長	産科婦人科学講座・生殖医療センター
阿久津英憲	部長	国立成育医療研究センター 再生医療センター生殖医療研究部
前田 創	講師	総合周産期母子医療センター・新生児部門
若狭朋子	教授	近畿大学 奈良病院 病理診断科

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する